

東 一 中 だ よ り

文京区立第一中学校

校長 山内 卓司

【教育目標】○進んで学習し、よく考える人 ○責任を重んじ、思いやりのある人 ○心身ともに健康でねばり強い人

「続ける」という生き方 ～カズ選手から学ぶ～

校長 山内 卓司

昨日、サッカーW杯の決勝トーナメント1回戦で日本代表は強豪国ブラジルと対戦して惜敗しました。とても残念な結果ですが、この悔しさを乗り越え、さらに強い日本代表になり、私たちにまた勇気をくれることを願っています。

そこで今回は、W杯での大きな挫折を乗り越え、今なお挑戦を続ける選手の話をしたと思います。

「外れるのはカズ、三浦カズ」

これは1998年、日本が初めてサッカーW杯に出場する直前、岡田武史監督が日本代表メンバーを発表する際に、三浦知良選手（カズ：日本サッカーを代表するレジェンド）の落選について述べた言葉です。この一言は日本中に大きな衝撃を与えました。なぜ衝撃的だったかというと、三浦選手はJリーグ人気を一気に押し上げた立役者で、サッカーに詳しくない人でも「日本代表＝カズ」と思うほどの存在であったこと。また、W杯までの長い予選の中で、チームを引っ張り、精神的な柱としても大きな役割を果たし、「カズはW杯に行くもの」と誰もが考えていたのに、その舞台から外されたからです。

その現実はいくらにも突然で、本人のショックの大きさは誰にも語るできないものだったと思います。帰国後の記者会見でカズはこう語っています。

「日本代表としての誇り、魂みたいなものを向こうに置いてきた」

この言葉には人生そのものであった日本代表として戦えない現実を受け入れ、未練や執着を断ち切る決意が表れていました。

この後も、カズは代表復帰を目指して、プレーを続けましたが、再び選ばれることはありませんでした。

しかし、ここで注目したいのは、彼はこの出来事を「終わり」にはしなかったことです。「自分はどうか生きるか」「サッカー選手として、どう在り続けるか」そう問い続け、戦い続ける道を選びました。

そして、59歳となった現在も引退せず、J3の福島ユナイテッドFCでプレーするなど、世界最年長の現役プロサッカー選手として試合に出場しています。

では、彼はなぜそこから立ち上がり続けることができたのでしょうか。

そこには私たちが学ぶべき姿があります。

- ① 挫折を「終わり」ではなく「始まり」として自分に意味づけしている。
- ② 後悔の基準を「挑戦しなかったこと」に置く。
- ③ 自分の限界を自分で決めない。
- ④ 人生を今の連続として扱っていて、「今日」という一日を全力で生きる。
- ⑤ 過去の自分に対して恥ずかしくない生き方ができているかを問い続ける。

彼は今「サッカーを続けられていることが幸せ」と言っています。W杯に出場できた幸せとは違うかもしれませんが、確かな幸せを感じながら生きています。

これは挫折に負けず、「続ける」という生き方を自分で選び続けた結果です。

ぜひ皆さんも、結果だけでなく自分を決めてしまうのではなく、続けるという選択を、自分の中で持ち続けてほしいと思います。

6月の宿泊行事

< 6月5・6日 防災宿泊訓練（2学年） >



< 6月10～12日 修学旅行 長崎市・福岡市（3学年） >



< 6月24～26日 ハケ岳移動教室（5組） >



【7月行事予定】

- | | | |
|----|--------|----------------------------------------------------------|
| 7月 | 1日（水） | 中央委員会 |
| | 2日（木） | 学校運営協議会 地域教育協議会 |
| | 4日（土） | スポーツフェスティバル（午前） 中学生サミット（午後）
一中祭盆踊り練習会（午後） |
| | 6日（月） | 朝礼 |
| | 10日（金） | 漢字検定 |
| | 11日（土） | 土曜授業 オープンキャンパス 薬物乱用防止教室
上級学校説明会（5組） ハケ岳移動教室保護者説明会（1年） |
| | 15日（水） | 生徒会役員選挙 |
| | 16日（木） | 特別清掃 水泳指導（終） 給食（終） |
| | 17日（金） | 終業式 学習相談会 避難訓練 |
| | 18日（土） | 一中祭 |
| | 20日（月） | 海の日 |
| | 21日（火） | 夏季休業日（始） 教育相談（始） |
| | 31日（金） | 教育相談（終） |